眼科疾患の鍼灸治療法について

1、 まえおき

眼科疾患には、東洋医学で治る病気が、多く見受けられます。

緑内障、白内障、弱視、近視、遠視、視野狭窄症、黄斑部変性症、膠原病などは、 鍼灸治療で予防的にも、治療できるのである。

目は、頭の中央に位置して、ものを見て判断して視覚として働いて人間が行動する ことに、認知過程として表象するものである。

2、 要旨

目の病気の中で、東洋医学で治る病気として、近視、遠視、弱視、白内障、緑内障、視野狭窄症、飛蚊症、ドライアイ、黄斑部変性症 膠原病、麦粒腫、眼精疲労症などがある。治療穴としては、白内障は曲池、光明、眼点穴、緑内障は心兪、金門穴、結膜炎は肝兪、少沢、上星穴、飛蚊症は百会、風池、耳尖穴、斜視は承泣、太陽、風池、崑崙穴、眼瞼下垂症は崑崙、血海、晴明、魚腰、血海穴付近の圧痛点、ドライアイは人中穴、涙目は承泣、風池、晴明、攅竹穴、目のゴロゴロは、大腿部内側の3点穴、麦粒腫は合谷、大骨空穴を使います。目の病気は、目だけ治療しても治らないので肩こり、首こりなどが、影響しており、体全体のバランスをとるために、肝虚証や腎虚症、肺虚証などの全体療法を取り入れて治療することにより、効果を表すと考えます。

Keyword, 百会、太陽、承泣、攢竹、晴明、魚腰、太衝、合谷、曲池、全体療法

3、 目的

目の病気は、日常生活において故障が生ずれば、大変不便を感じるので、早く治す ことを目的とする。

4、 治療穴

糖尿病からきた白内障は、曲池、養老、緑内障は心兪、金門、結膜炎は肝兪、眼病 全般は、曲池、顖会(藤本蓮風氏による)

目の痛み-陽白、太陽、眼瞼の痙攣-風池、合谷、目のゴロゴロや目の奥が痛い、眼底出血は、肝経の大腿内側の圧痛点の3ケ所、上眼瞼下垂-血海、涙目-晴明、攅竹。 緑内障、白内障-眼点穴、光明。麦粒腫-合谷、大骨空(山本敏夫氏による)

斜視-承泣、太陽、風池、飛蚊症-風池、耳尖(趙振景、西田皓一氏による) 斜視、眼瞼下垂症-崑崙、眼痛-晴明、麦粒腫-曲池、中衝、目の疲れ-印堂、上星、攅竹、風池 (谷田伸治氏による)

5、 症例

- ① 緑内障 女性 65歳 視野が狭いので眼科にて検査をしながら、治療をしていました。肺虚常証タイプで治療穴は、攅竹、陽白、魚腰、承泣、上天柱、風池、百会、太衝、合谷、曲池穴を使い、あとは、肩こり、腰痛などは、続いて治療した。
- ② 白内障 男性 80 歳-外からの光を屈折させる水晶体が濁って光が通らなくなり、 目がかすみ、近くが見えにくい、まぶしい、治療点は、上記の治療点を使い、治療

した。

③ 飛蚊症 男性 36歳-症状は、目の前に虫や糸くずが飛んでいるように見える状態です。これは眼球の中の硝子体の加齢変性で起こる。上記の治療点で良好となる。

6、 経過

1週間に、2回の治療を続けました。検査は眼科にて月に1回ですが 検査するたびに、視野が良好となる。その後、6ケ月繰り返し治療して良好となり、 治癒となる。白内障も7回位治療して眼科に行き検査をしていただくと、好転して いるので患者自身は喜びます。飛蚊症も、仕事上に結果が出てくるので経過良好で す。

7、 考察

緑内障は、毛様体から分泌される房水は、眼球の張りを保ち、角膜や水晶体に栄養を与え、最終的に隅角から排出される。しかし、隅角が詰まると房水がたまり、眼圧が上がり、視神経を圧迫して視覚障害を起こします。隅角が詰まらないように、 鍼治療で好転して眼圧が正常になり、視野も正常となる。

白内障は、水晶体が濁ると、光が通過できず、網膜に鮮明な像が映らないので目がかすむのです。水晶体の濁りは、鍼治療で取れて、明るく見えるのです。飛蚊症も鍼治療により、すぐ効果が出てきます。

8、 予後

一度良くなると、患者は続けないので、悪くなると慌ててきますが、東洋医学の治療が必要であると、患者自身が思うことが重要であると考えます。

9、 まとめ

今回は、目の疾患についての鍼灸治療は、範囲が広いので白内障、緑内障、飛蚊症 近視などについてまとめてみました。眼瞼下垂症や眼輪筋の痙攣、目のゴロゴロ、 目の痛み、結膜炎などは、鍼灸治療が不可欠です。(文責 池田啓二)

10、参考文献

1	芹沢勝介 釒	減灸の化学	医歯	薬出版	1962 年 5 月
2	所 敬 臨月	末医学示説	(眼科)	近代医学出版社	1982年7月
3	藤本蓮風 剎	圣穴解 設	メディ	カルユーコン	2007年12月
4	山本敏男 特	寺効穴一発療	法 六	然社	2009年6月
⑤	山下良平 剎	圣 穴奇穴考	長生出	饭	1970年4月
6	谷田伸治 乡	先人に学ぶ7	75 名穴	アルテミニア	2009年7月
7	西田皓一• 制	省振書 斜名	>—穴痞	决	2008年11日